

## 平成23年度 第3回 福崎町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成24年1月31日(火) 14:00～15:30
2. 場 所 福崎町役場 2階 大会議室
3. 出席者

	所 属 団 体	役 職 名	氏 名	代理等
会 長	兵庫県立大学環境人間学部	教 授	松本 滋	
委 員	福崎町区長会	会 長	中田 光夫	
	福崎町老人クラブ連合会	会 長	庄 幹正	
	福崎町商工会	会 長	後藤 雅一	
	J R西日本福崎駅	副 駅 長	武知 芳直	
	神姫バス株式会社姫路営業所	所 長	月野木 謙一	
	社団法人兵庫県バス協会	専務理事	中澤 秀明	小西 一夫
	社団法人兵庫県タクシー協会西播地区(神崎交通有限会社)	副 会 長	依藤 義光	
	神姫バス労働組合	書 記 長	中川 貴水	吉川 芳夫 (副委員長)
	神戸運輸監理部兵庫陸運部	首席運輸企画 専 門 官	木村 淳三	金澤 重之 (運輸企画専門官)
	中播磨県民局姫路土木事務所	企画調整担当 主 幹	大山 和弘	大畑 雅哉 (課長補佐)
	福崎警察署交通課	課 長	宮辻 義信	
	福崎町議会(民生常任委員会)	委 員	高井 國年	
	福崎町議会(産業建設常任委員会)	委 員	吉識 定和	
	福崎町	副 町 長	橋本 省三	
	福崎町まちづくり課	課 長	志水 利雄	欠席
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所	道路管理 第二課長	高村 裕一	欠席
	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	副 課 長	竹林 誠	

(順不同 敬称略)

	所 属 団 体	氏 名
事務局	福崎町健康福祉課	高松 伸一
		谷岡 周和
		村上 祥教
	(株)丸尾計画事務所	丸尾 哲也
		西村 和記
		小林 巧

#### 4. 配布資料

- 次第
- 座席表及び名簿
- 資料1 今後の検討の全体構成
- 資料2 ミニデイサービスにおけるサルビア号意向調査結果
- 資料3 第2回 事業者・住民代表部会の結果報告
- 資料4 サルビア号再編計画（案）

#### 5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人2名。

#### 6. 開 会

（事務局）

ただ今から第3回福崎町地域公共交通会議を開催いたします。

本会議は設置要綱に則りまして公開とさせていただきます。司会進行をさせていただきます、事務局健康福祉課の高松です。よろしくお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、松本会長よりご挨拶をいただきます。

#### 7. あいさつ

（会 長）

明けましておめでとうございます。福崎町の公共交通再編について議論が進み、いよいよ大詰めとなっておりますので、皆様の有益なご意見をいただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

#### 8. 今後の検討の全体構成

##### （1）今後の検討の全体構成（資料1）

事務局より、今後の検討の全体構成について（資料1）を説明

#### 9. 報告事項

##### （1）ミニデイサービスにおけるサルビア号意向調査結果（資料2）

事務局より、ミニデイサービスにおけるサルビア号意向調査結果について（資料2）を説明。

（会 長）

ミニデイサービスにおけるサルビア号意向調査結果は、本会議で議論してきた内容と相違するような結果や意見ではないと思いますが、委員の皆さまから意見や質問はありませんでしょうか。

（全委員）

意見なし。

##### （2）第2回 事業者・住民代表部会の結果報告について（資料3）

（事務局）

平成23年度第1回の地域公共交通会議で行政補助額と年間利用回数目標値を示してお

り、前回の会議で、「今後、どれくらいの利用があれば目標値を達成できるのか」というご質問がありましたので回答させていただきます。

現在のサルビア号と路線バス利用者の合計が年間約 19,400 人であり、福崎町民が年に 1 人 1 回程度バスを利用していただいていることになっています。公共性評価の目標値は人口 1 人当たり年間利用回数を 2 回と設定していることから、バス利用者全体で現在の 2 倍の年間約 38,800 人の利用が目標値です。現在の路線バス利用者は年間約 6,600 人で、サルビア号利用者は年間約 12,800 人です。路線バス利用者が現在の約 6,600 人のままであるとして、サルビア号利用者は約 32,200 人の約 2.5 倍にすることが目標値となり、路線バスもサルビア号と同様に利用者が増えたとして、サルビア号利用者は約 25,600 人の約 2 倍にすることが目標値となります。したがって、サルビア号利用者を現在の約 2 倍から 2.5 倍にすることが目標です。

(委 員)

ご報告いただいた内容の資料はありますか。

(事務局)

資料は作成していないため、後日、資料を送付させていただきます。

事務局より、第 2 回 事業者・住民代表部会の結果報告について(資料 3)を説明。

(会 長)

事業者・住民代表部会においてサルビア号再編案の案 2 市街地部定時定路線型+郊外部予約型(乗換えなし)と案 3 市街地部定時定路線型+郊外部予約型(乗換えあり)を比較検討していただいた結果、運行面から見ても利用者にとっても案 3 の方が望ましいという結論をいただいています。この結果を受けて、地域公共交通会議でも案 3 を再編案として議論を進めてよろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(会 長)

ありがとうございました。したがって、地域公共交通会議としても、サルビア号再編案は案 3 市街地部定時定路線型+郊外部予約型(乗換えあり)ということで議論を進めていきます。

## 10. 協議事項

### (1)サルビア号再編計画(案)について

事務局より、サルビア号再編計画(案)について(資料 4)を説明。

(会 長)

パブリックコメントはこの資料の内容で実施するのでしょうか。

(事務局)

本会議で承認していただければ、資料 4 サルビア号再編計画(案)をパブリックコメント資料としてパブリックコメントを実施します。

(委 員)

現在の資料の内容でパブリックコメントを実施するのは、住民の方にとっては難しい内容

であると思います。再編後のサルビア号の運行方法について具体的に示す必要があると思います。時刻表や利用料金について具体的に記載していないと、住民の方にはイメージがしづらいたと思います。

(委員)

郊外部の予約型については、デマンド交通予約システムを導入するのでしょうか。または、タクシー会社の既存のシステムを活用して運行しようと考えているのでしょうか。先行事例として丹波市では、約1億円を掛けてデマンド交通予約システムの導入をしています。

住民の方の税金を使ってバスを運行しているので、パブリックコメントには再編後の運行経費を記載するべきだと思います。

7頁「継続的な見直し改善のイメージ」ではPDCAという表現で掲載しているが、高齢者の方には伝わりにくいと考えられるので、もっと分かりやすい表現に変更する必要があると思います。

(事務局)

郊外部の予約については、予約システムを使用せずにオペレーターが予約を受けて運行計画を作成し、運転手に運行計画を伝える方法で予約に対応しようと考えており、予約システムの導入は考えていません。今後、利用者が増えた場合は、予約システムの導入を検討しようと考えています。また、予約システムをリースする方法もありますが、今のところリースする方法は考えていません。

7頁「継続的な見直し改善のイメージ」のPDCAという表現は高齢者にも分かりやすい表現に変更します。

時刻表や利用料金を具体的に示すことについて、他の委員のご意見もいただけませんでしょうか。

(委員)

福崎町として、サルビア号運行に対して確保できる予算があり、再編後のサルビア号に必要な運行経費と利用者数の見込みを推計することで、料金を設定することができるのでしょうか。このような資金計画までパブリックコメント資料に掲載する必要はないかもしれませんが、資金計画は必要だと思います。

(事務局)

運行経費は現在約1,100万円となっており、再編後は約1,500～1,600万円かかると予想しております。現在のサルビア号は福祉目的で運行していることもあり、利用料金は無料としておりますので、今後も運行経費を運賃収入で賄う考えはありません。運行経費に対して運賃収入がいくら必要かという考えで、サルビア号の運行はする予定ではありません。利用料金はアンケート調査結果から100円程度がもっとも適切な料金設定であると考えています。

(委員)

再編後のサルビア号の運行経費と運賃収入の見込みから、行政負担額の見込みを把握しておく必要があるという意味だと思います。

(会長)

再編後のサルビア号の目標値は年間約25,000人ということでしたから、料金が1回100円とした場合の運賃収入は年間約250万円が目標になりますね。

(事務局)

利用料金については100円程度と記載したいと思います。

時刻表を具体的に示すことについては、再編後のサルビア号における運行事業者の選定予定が平成24年4月であることから、運行事業者は現在決定しておらず詳細な時刻表を記載することができない状態です。

(委員)

運行事業者が未定であることから、詳細な時刻表は決定していない状態ですが、福崎町としてはどのような時刻表をイメージしていますか。

(事務局)

市街地部の定時定路線型については、1コースを回るのに約1時間かかるので午前4便・午後4便の1日8便で考えています。郊外部の予約型については、市街地部の乗換え拠点の発車時間を考慮した時刻表にする予定であり、1日4便程度で考えています。

また、第2回地域公共交通会議資料にも時刻表のイメージを掲載していますので、参照して下さい。

(委員)

その様な内容をパブリックコメント資料に掲載しないと住民の方には分かりにくいと思います。

福崎町はJRの利用者が多いので、朝・夕の時間はJRとの接続時間も考慮して時刻表を設定すれば、通勤・通学での利用者もターゲットになると考えられます。現在サルビア号を利用していない人にも利用していただきたいのであれば、通勤・通学も考慮した時刻表の設定も一度検討してみてはどうでしょうか。

(事務局)

通勤・通学を考慮した朝の早い時間帯や夜の遅い時間帯の運行は考えていません。運行時間は8時半頃から17時頃の運行で考えています。

(委員)

丹波市で導入したデマンド型交通では、利用登録会員数の目標値を人口の25%と設定していましたが、現在の利用登録会員数は人口の約13%となっており、目標値の半分程度しか達成できていない状況です。各地域で合計約200回の住民説明会を開催しましたが、高齢者は電話予約することに対して非常に抵抗があるため、目標値を達成できていない状況です。福崎町においても、デマンド型交通を導入する際には、十分な住民説明会や広報などを行う必要があると思います。

(委員)

パブリックコメント資料には現行のサルビア号と比較して、再編後にどのような部分が変わるのかを記載すると住民の方にも理解しやすくなり、意見が出やすいと思います。

現在、福崎町においても町外の姫路市へ移動している人が多いと思います。ある市では市外と結ぶ路線バスも含めて全てコミュニティバスで運行するという方針を示しており、そのことで市町をまたいで運行していた路線バスが廃止される可能性があります。しかし、もう一方の市では市町をまたぐ路線バスは必要であるということから問題になっております。

福崎町にもサルビア号と路線バスがありますので、コミュニティバスと路線バスがどのような役割分担するかを記載する必要があると思います。

(会長)

コミュニティバスと路線バスが互いに協力して、メリットを生かすようにするというです  
ね。

現行のサルビア号と再編後の比較としては、運行ルート、バス停数、運行本数などの変更  
点をパブリックコメント資料の最初に記載しておくのと住民の方に理解されやすいと思いま  
す。

(委 員)

有料化にして利用料金が100円になると記載する際に、住民の方が勘違いされないよう  
に片道100円と記載してください。

ミニデイのサルビア号意向調査結果では、「有料化した場合に利用できる料金」として100  
円までが全体の約4分の3となっていますが、サルビア号を利用しない人が多く含まれた結  
果です。サルビア号を有料にして利用者が減少すれば、無料に戻すことも考えているのでし  
ょうか。

(事務局)

一度有料にすれば無料にはしない考えですが、高齢者、障害者などに対しては優遇措置等  
を行って対応していきたいと思えます。また、利用者が減少する場合は有料化による要因だ  
けではないと思うので、住民の方に意見を聞くなどして原因究明を行い、運行方法を改善し  
ていきたいと考えています。

(会 長)

さまざまな意見を受けて事務局ではパブリックコメント資料をどの様に修正しますか。

(事務局)

パブリックコメント資料の最初に現行のサルビア号と再編後の比較を行い、どの様に良  
くなるかを掲載します。時刻表については、市街地部は午前4便、午後4便の1日8便、郊外  
部は1日4便程度の運行になることを記載します。利用料金については片道1回100円にな  
り、乗継する場合でも1回にカウントされないことを記載します。

(会 長)

時刻表は、市街地部は午前4便、午後4便の1日8便、郊外部は1日4便程度の運行にな  
ると記載すると、朝夕だけ運行して昼間はほとんど走らないと勘違いされるかもしれませ  
ん。例えばどこかの停留所の時刻表のモデルを掲載することができれば分かりやすいと思いま  
す。

(事務局)

朝夕だけ運行して昼間はほとんど走らないと勘違いされないように時刻表のモデルを掲  
載するなど、運行頻度の示し方を工夫したいと思えます。

(委 員)

昨年の日本バス事業者大会において、東日本大震災に学ぶこれからのバス事業者のあり方  
についてパネルディスカッションがありましたので、その内容を報告させていただきます。  
東日本大震災で災害があった南三陸町はミヤコーバスが運行していましたが補助金の問題  
により、震災が発生する以前にバスの運行を辞めることになりました。その様な中、東日本  
大震災が発生し、JRが壊滅、路線バスもないという状況から、南三陸町から公共交通がない  
状況が2ヶ月間続きました。公共交通がないと生活に支障をきたすということから、地元の  
依頼により運行を辞めていたミヤコーバスが臨時でバスを運行するようになりました。

佐用町の台風被害や山崎断層のことを考慮すると福崎町でも災害が発生することも考え  
られます。路線バスがないと災害が発生した場合に移動することができる交通モードがなく

なる可能性がありますので、災害時の場合のことを考慮すると地域公共交通会議で路線バスをどの様に維持していくかも検討する必要があると思います。路線バスを維持するために、路線バスとコミュニティバスが接続し、路線バスにも利用者が乗っていただくことを考えていただきたいです。

(委員)

運行事業者の選定は入札またはプロポーザル方式で行うのでしょうか。

(事務局)

事業者選定はプロポーザル方式で行う方向で考えています。

(委員)

プロポーザル方式で行うのであれば、国土交通省のコミュニティバスの導入に関するガイドラインに則った、路線バスとコミュニティバスが競合しない企画基準を作成していただきたいです。

(事務局)

パブリックコメント実施まで非常にタイトなスケジュールとなっておりますので、パブリックコメント資料は、本日ご意見いただいた点を修正し、会長に確認していただくことで最終確認を一任してもよろしいでしょうか。

(会長)

了解しました。委員の皆さんはよろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(事務局)

それでは、平成24年2月6日から実施するパブリックコメント資料の修正は会長に確認していただき、修正した資料を委員の皆さまに送付いたします。

## 9. 閉会

(会長)

今日は、たくさんの議論をいただきありがとうございました。

(事務局)

今後、パブリックコメントを平成24年2月6日から3月5日まで実施し、パブリックコメントでのご意見の内容を取りまとめ第4回地域公共交通会議を開催したいと考えていますので、よろしく願いいたします。今日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

これをもちまして、第3回福崎町地域公共交通会議を閉会させていただきます。

以上